

光経済研究所株式会社

東京都中央区日本橋人形町 1-18-9 TEL 03 (3669) 2331(代)

証券投資顧問業登録関東財務局長第 557 号 日本証券投資顧問業協会会員 011-00557 号

平成 14 年 10 月 16 日号

ファンドマネージャー 出来岡 潔

<http://www.hikarikeizai.co.jp>

ここまで**遅行スパンの好転**(9月18日号のレポート参照)と**遅行スパンの逆転**(10月8日号のレポート参照)についてご説明しました。

今回は**6305 日立建機**のチャートを使ってご説明します。

おわかり頂けるように現在の株価は26日前の株価を上回っています。いわゆる遅行スパンは好転した状態にあるわけです。しかし、このまま**横ばい**を続けると、あと10日(立ち合い日数)ほどで遅行スパンは日々線(その位置にある日足)にぶつかることがわかります。26日前の株価を下回ってしまうわけです。

そうなると**カタチ**が悪くなりますから、遅くとも10日以内には、その位置にある日々線を現在の株価が上回っていることが望ましいことになります。

上回ることが出来なければ**遅行スパンは逆転**する！

このように遅行スパンの**良いところ**は、いつまでに、円まで上がれば(下がれば)どのようなカタチになるということが、**あらかじめわかる**ことなのです。

(無料テレフォンサービスですお気軽に)やさしいチャート教室 03 - 3669 - 5552

### 〈 日立建機 〉 一目均衡表



このレポートは投資の判断となる情報の提供を目的としたものです。銘柄の選択、投資の最終決定は、ご自身の判断でなさるようお願い致します。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。